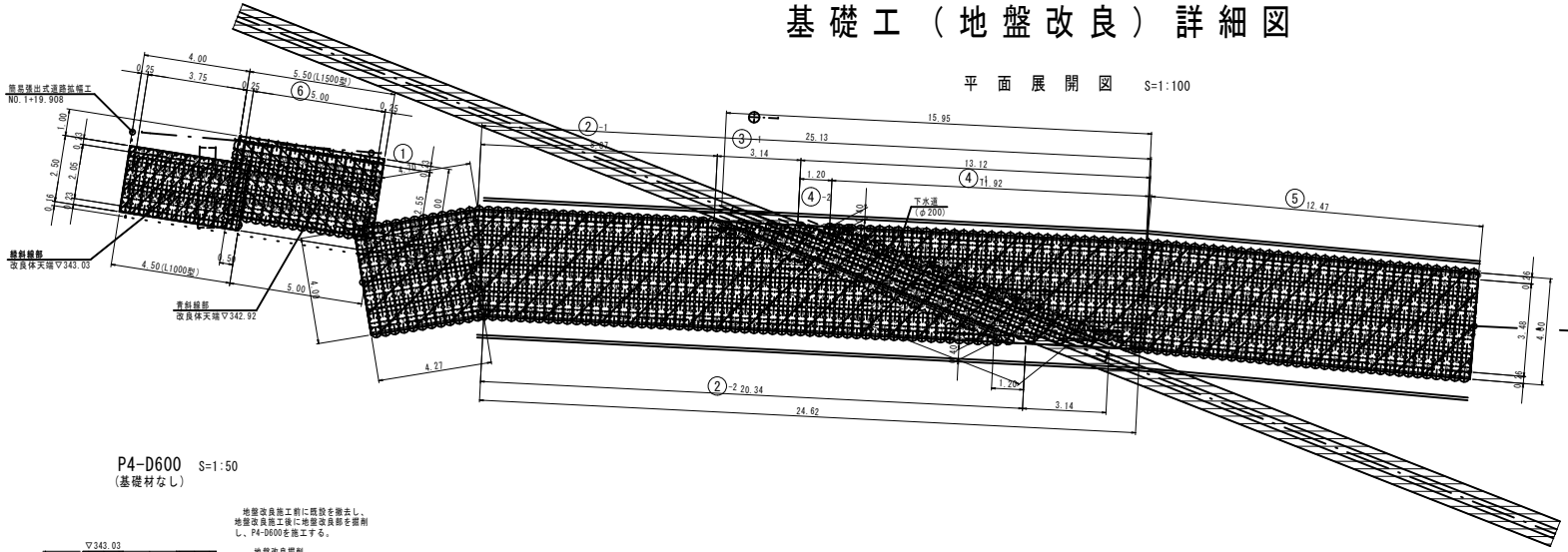
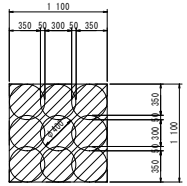
基礎工（地盤改良）詳細図

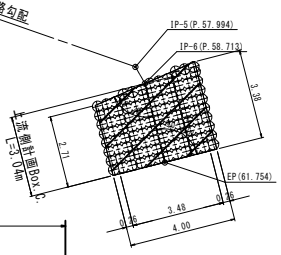
平面展開図 S=1:100



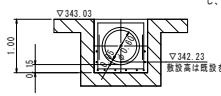
地盤改良の標準配置 S=1:30



改良率87.0%



P4-D600 S=1:50
（基礎材なし）

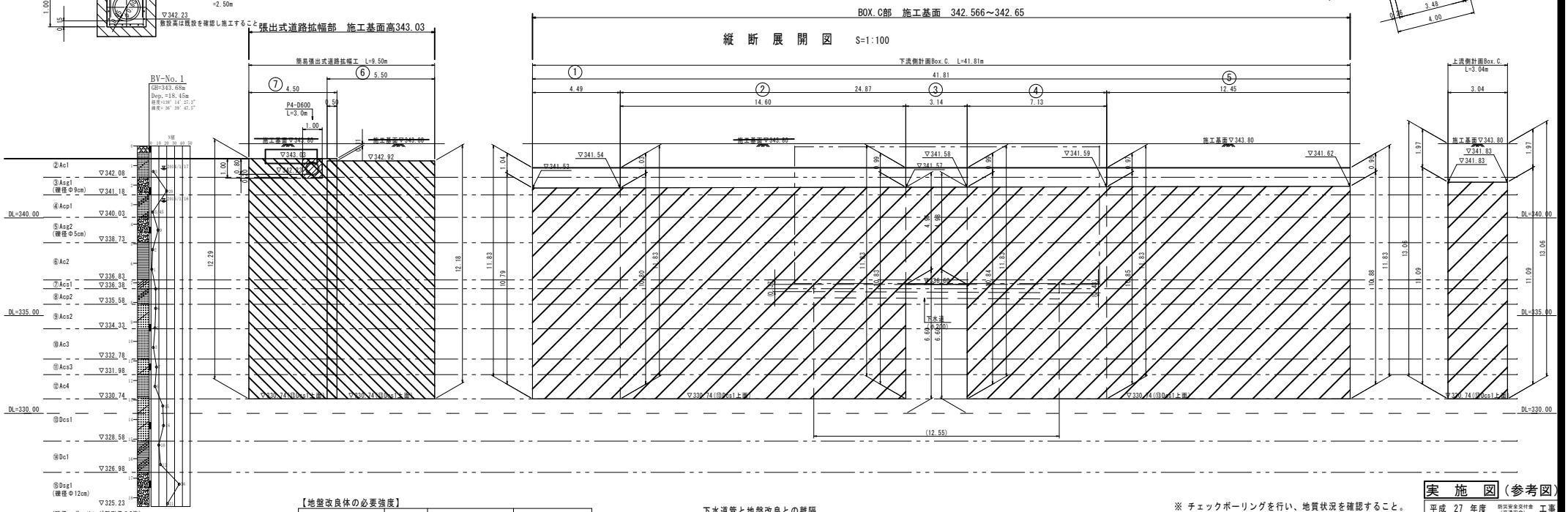


地盤改良施工前に既設を撤去し、地盤改良施工後に地盤改良部を掘削し、P4-D600を施工する。

地盤改良掘削
V=1.00×1.00×2.50
=2.50m

既設高は既設を確認し施工すること

縦断展開図 S=1:100



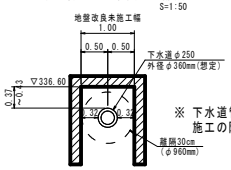
（硬径：ボーリング観測径の3倍）

【地盤改良体の必要強度】

工種		改良体への作用力 (kN/m²)	必要一軸圧縮強度(kN/m²) 現場必要強度(設計基準強度)	必要一軸圧縮強度(kN/m²) 室内必要強度	備考
道路拡幅工	L1000型	250	900	1,800	青斜線部
	L1500型	300	1,100	2,200	緑斜線部
ボックス		100	400	800	黒斜線部

※ 現場必要強度 = 改良体作用力×安全率(3)／改良率(87.0%)
室内必要強度 = 現場必要強度×現場・室内強度比(2)
※ 地盤改良体の必要室内強度は、配合試験を行い添架量を決定すること。

下水道管と地盤改良との離隔 S=1:50



※ 下水道管位置は、台帳および現地マンホール位置からの推定である。
施工の際は、下水道管位置を確認するとともに、施工中は変状の有無を観測すること。

※ チェックボーリングを行い、地質状況を確認すること。
設計段階と地質状況が異なる場合は、設計を行うこと。

※ 事前に周辺ので地下水利用の有無を確認すること。

※ 本工事は休耕作期(11月～3月)に施工する。
基礎工(地盤改良)工事は、50日間程度の施工となるため、改良機械を複数台で施工する。

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

実施図（参考図）

平成 27 年度		防災安全交付金（交通安全）		工事	
番号	16/25	基礎工（地盤改良）詳細図	縮尺	図示	
（一）三才大豆島中御所線					
長野市 朝陽（石渡南掘）					
所長		課長	照査	設計	
長野建設事務所					
設計会社	(株)フジテック	管理技術者	新家 直之		
		照査技術者	武内 資定		
測量会社	(株)ナン環境計画 (株)フジテック	主任技術者	藤澤 光雄 小田切裕彦		
調査会社	(株)中部測地研究所	主任技術者	藤森 徳雄		
平成22年10月 地形測量（(株)ナン環境計画）					
平成25年4月 路線測量（(株)フジテック）					